

平成23年度第1回公益事業振興補助事業
審査・評価委員会 議事録（書面表決）

下記のとおり、委員全員に対し持ち回りにより審議事項の提案を行ったところ、下記のとおり回答書面において全ての委員から賛成が得られたので、補助事業審査・評価委員会規程第7条第3項の規定により審議事項を可決する旨の委員会の表決があったものとみなされた。これを証するため本議事録を作成する。

記

1. 書面表決送付・回答委員（五十音順、敬称略）

小松 隆二（委員長）、大江 守之、川戸 恵子、小林 理、千田 彰一、
高橋 紘士、栃本一三郎、西貝 宏伸、原田 宗彦、早野 透、宮嶋 泰子、
山岸 秀雄、山谷 清志

参 考：平成23年度公益事業振興補助事業審査・評価委員会名簿
（平成23年4月1日現在）

2. 持ち回り審議について

・平成23年度第1回公益事業振興補助事業・審査評価委員会の開催について

3. 審議事項

「平成23年度 東日本大震災復興支援補助（略称：復興支援補助）」募集要項(案)
の賛否について

4. 配布資料

・資料1：「平成23年度 東日本大震災復興支援補助」募集要項(案)
・資料2：「東日本大震災復興支援補助 審査部会」審査スキーム(案)

5. 持ち回り審議（書面表決）の結果

審議事項に対して賛成 13名
審議事項に対して反対 0名

6. 委員会の決議があったとみなされた日

平成23年4月25日

7. 委員意見（概要）

別紙のとおり

平成23年4月25日

公益事業振興補助事業審査・評価委員会

委員長 小 松 隆 二

別紙

委員意見（概要）

- ・ 息の長い支援には、ボランティア活動を継続するための拠点づくりが不可欠である。
- ・ 被災者のうち、特に高齢者、児童、障害者に対する支援が重要である。
- ・ 児童、障害者に対する学習・教育支援が必要である。
- ・ 現地のNPO法人は、毎日往復 4 時間かけて沿岸部の被災地に支援活動に出かけており、トラックのリース代金やガソリン代金が必要である。
- ・ 被災地では自転車が大変便利なので支援できないか。また、中古車のニーズも高い。
- ・ 支援拠点の常駐スタッフに対する手当も必要ではないか。
- ・ 被災者、特に子供たちの心のケア、文化・娯楽などを対象にした活動に息長く対応するNPOに補助してほしい。
- ・ 幅広く独創的な活動も採択されるよう配慮してほしい。

以上